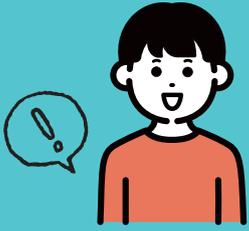


# 山形県子ども会議

YAMAGATA KODOMO MEETING

## 開催レポート



山形県では、「こどもまんなか山形」の実現のため、こども・若者の皆さんの意見を聴き、皆さんが意見を表明する場として「山形県子ども会議」を開催しました。



### 「こどもまんなか山形」って？

山形県のこどもたちが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指すための合言葉です。

### なぜ「こども・若者の意見」を聴く会議をするの？

こども・若者の皆さんを「ともに社会をつくるパートナー」として、皆さんの視点を大切に、意見を聴き、対話しながら、より豊かで暮らしやすい山形県にしていきたいからです。

### 意見はどうなるの？

今後の山形県の施策の参考とするほか、今年度策定している「山形県こども・子育て笑顔プラン」に反映されます。



## 会議のテーマ

- ★山形県がこれからもずっと住み続けたいところになるには？
  - ★すべてのこどもが幸せになるためには？
  - ★地域社会が子育てについて支援できることは？
- そのほか、普段みんなが感じている学校のこと、地域活動のこと、家庭のことなど



## 事前勉強会

会議テーマについて、学び、考える場として事前勉強会を開催しました。参加した皆さんで意見を出し合いながら、一緒に考える大人(ファシリテーター)も参加し、皆さんの考えをまとめるサポートをしました。

村山地区 令和6年7月30日(火)  
やまがたクリエイティブシティセンターQ1(山形市)  
参加者11名(小学生6名、中学生5名)  
ファシリテーター:稲村理紗さん

最上地区 令和6年7月31日(水)  
万場町のくらし(新庄市)  
参加者1名(小学生1名)  
ファシリテーター:伊藤こず恵さん

置賜地区 令和6年8月6日(火)  
旧長井小学校第一校舎(長井市)  
参加者4名(小学生1名、中学生1名、高校生2名)  
ファシリテーター:小野卓也さん

庄内地区 令和6年8月2日(金)  
酒田駅前交流拠点施設ミライニ(酒田市)  
参加者4名(高校生4名)  
ファシリテーター:藤川かん奈さん

### 1.アイスブレイク



まずはみんなでアイスブレイク!お互いのニックネームを呼び合って緊張をほぐしました。

### 2.山形県の現状を学ぶ



こども基本法について学んだ後、グラフやデータを通してテーマに関する山形県の現状を学びました。

### 3.意見交換



テーマについて考えたことをふせんに書き出し、参加者同士で意見交換しました。

### 4.振り返り、まとめ



こども会議の本番に向けて、学んだことや考えたことを各自振り返り、まとめました。

#### 参加者の声

- 緊張した
- アイスブレイクが楽しかった!
- みんなと仲良くなりたい
- たくさん意見を出したい

#### 参加者の声

- 女性の方が県外に出ていく割合が高いのはなんだろう
- 子育て支援があっても利用している人はどれくらいいるのだろう
- 男性が育休を取りやすい環境って?

# 山形県こども会議

事前勉強会をふまえて、皆さんのアイデアやおもいを聴く場として開催しました。皆さんからいただいた意見は、「こどもまんなか山形」実現のため、これからのこども・子育て政策の基本方針となる「山形県こども・子育て笑顔プラン」の策定に反映されていきます。

- 令和6年9月7日(土) スタートアップステーション・ジョージ山形(山形市) 参加者19名(小学生7名、中学生6名、高校生6名)
- ファシリテーター: 櫻井彩乃さん(こども未来戦略会議 有識者構成員)

## 1.意見発表



みんなでアイスブレイクをした後は、参加者一人ひとりが3つのテーマでそれぞれの意見を発表しました。

## 2.意見を選ぶ



みんなの意見から「より共感する意見」をテーマごとに選びました。

## 3.グループワーク(小学生)



小学生・中学生・高校生・オンラインの4つのグループに分かれ、みんなの共感が集まった意見についてさらに意見交換をして考えを深めました。

## 4.グループワーク(中学生)



## 5.グループワーク(高校生)



## 6.グループワーク(オンライン)



## 7.まとめ、振り返り



最後は全体で、山形県に届けたい自分たちの意見やアイデアを振り返りました。

## 「子育てするなら山形県推進協議会」



山形県こども会議の代表者が、協議会の場でみんなの意見を届けました。

### 参加者の声

- 自分が困っていることが話しやすかった
- 今日の話し合いはとてもよかった
- 色々な年齢、地域の人の話が聞けた
- 他の人と自分の意見が似ていてうれしい
- 話し合いを次の世代に活かしてほしい
- 大人やお年寄りにも参加してほしい

### こんなアイデアが 出ました

- 【娯楽や憩いの場がほしい】
- 【地域との関わりがほしい】
- 【行政が若者の意見を聴く機会をつくってほしい】
- いつでも誰かと話せる場所
- 地域の人と遊ぶイベント
- 気軽に意見をポストできるサイト、意見箱
- 小学生同士で行けるカフェ
- 地域の大人に山形での働き方を取材
- 学年ごとに、今回のような会議の開催

## 参加者の皆さんから出た意見と山形県こども・子育て笑顔プランへの反映結果

### 郷土愛を持ち 健やかに成長するために

**意見** こどもたちが自分らしくいられて幸せになるため、学校や家庭、地域社会でこどもの個性が認められ、こどもの権利と主体性が尊重されることが大切である

**反映結果** こどもの権利と主体性が尊重される大切さについて「全てのこども・若者は、生まれながらに権利の主体であり、その多様な個性を尊重し、こども・若者にとっての最善の利益を優先して考えます。さらに、こども・若者の権利について、こども・若者や子育て当事者、教育・保育に携わる者をはじめとするおとなへ広く周知し、社会全体で共有します。」と、プランに明記し、取組みを進めています。

### 困難を有するこども・若者とその家族が未来を切り拓くために

**意見** ひとり親家庭に対して実施している支援を知ってもらい、活用してもらいやすくすればいい

**反映結果** ひとり親家庭への支援施策の周知について、ひとり親福祉制度をまとめた「ひとり親福祉のしおり」を作成し、関係機関や市町村と連携して対象者に配布したり、やまがた子育て応援サイト等を活用し積極的に支援情報を発信するなど取組みを強化していきます。

### 若者が山形で夢と希望を叶えるために

**意見** 山形県の魅力をさらに増やしていくことで、山形に住み続けようと思う人が増えると思う

**反映結果** 若者の多様な活動や若者の魅力を知る機会の充実について若者による山形での多様な働き方ややまがた暮らしの魅力の情報発信に力を入れていきます。

### こども・若者、子育て当事者に温かい社会づくりのために

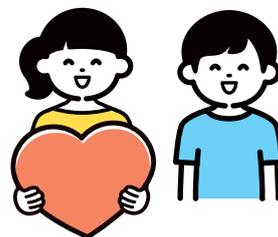
**意見** 男性と女性で仕事と家事が分けられるという考えを壊し、育児休暇に理解のある環境を作っていくことが必要だと思う

**反映結果** 子育ての負担感が母親に偏ることのないよう、男性の家事・育児への参画を促進し、子育ての孤立感・負担感の軽減を図るため、男性の家事・育児への参画促進や事業主等に対する仕事と家庭の両立支援の意識醸成を図ります。

### 安心して山形でこどもを生み育てるために

**意見** 子育てしやすい環境づくりには、保育所や幼稚園、放課後児童クラブの数と預かり時間を増やし、料金を安くする必要があると思う

**反映結果** 多様な保育サービスの提供のため保育従事者の確保と資質向上に取り組むとともに、子育て家庭への子育てや教育に係る経済的な支援について取り組んでいきます。



参加者の皆さんからいただいた全ての意見と詳しい山形県こども・子育て笑顔プランへの反映結果は、「山形県こども会議 報告書」にまとめています。

🔍 山形県こども会議